

めざす児童生徒像

- 「つよく やさしく かしこい子」
- つよさ

真の強さをもった子に
- やさしさ

すべての人にやさしい子に
- かしこさ

みんなでとことん考える子に

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果（％）			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
（学校で設定）	一人一人が主体性を発揮する学校づくり	・①②③④を90％以上にする	① 職員の心理的安全性が保持されている						
			② 生徒指導の4つの視点を中心とした児童にとって安全安心な環境づくりが行われている						
			③ 業務遂行にあたって主体性をもって取り組んでいる						
			④ 児童が学習活動全般において、自主性（低）主体性（高）を発揮している						
			集計						
	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目					達成状況の分析	改善策
	業務の改善 働き方や	・①③を100％にする ・②を90％以上にする	① 時間外在校等時間の月平均45時間以内に明け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			② 時間外在校等時間が月60時間を超える教職員ゼロ						
			③ 教職員が協働的に働き、仕事に「やりがい」を感じている。						

	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果（％）			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
小松市共通重点項目	学校研究	①②の平均が 中間・・・85％以上 年度末・・・90％以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、具体的な取組を共通実践している。						
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。						
			集計						
		①と②の児童生徒の割合が 中間・・・80％ 年度末・・・85％	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
			② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができている。						
			③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。						
			④ 児童生徒は、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。						
			⑤ 児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、友達と考えを共有したり比べたりすることができている。						
			集計						
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。						
			② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。						
			③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。						
			④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。（小中連携）						
			集計						
		学習方法	① 児童生徒は、分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。						
			② 児童生徒は、学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用し、自分のペースで理解しながら学習を進めることができている。						
			集計						